

赤こんりポート 東恵子リポーター



わたしたちだけの「はちっこぶっく図書館」

「楽しみながら読書の習慣を」と市内の就学前施設を巡回する移動図書館車「はちっこぶっく号ミニ」が6月8日、岡山紫雲こどもみらい園にやってきました。

この日は、5月に行われた市内在住の絵本作家・はやしますみさんとのワークショップで、5歳児48人が作ったのれんがかけられており、絵本を選びに来た子どもたちは、のれんを見て「わたしの手型や!」「コレ、ぼくの!」とうれしそう。見守る先生や市の職員も、たくさんの絵本にわくわく。世代を超えて楽しめます。

はやしさんは「自分で気に入った本を手に取り、選ぶとより楽しく本に親しみが湧きますね」と話していました。

赤こんりポート 馬場利男リポーター



岩戸山十三仏「千日会」護摩祈禱

岩戸山十三仏で4月23日、「千日会」の護摩祈禱が行われました。この日にお参りすると、千日お参りしたのと同じ御利益があるといわれています。御堂前の広場には安土町内野自治会の世話方による護摩壇が設置されました。

正實寺の中村寛應住職と大圓寺の内田智教住職が世界平和・無病息災を祈禱する読経を行い、信者から寄せられた家内安全や交通安全、無病息災の護摩木を祈禱する読経が1本ずつ読み上げられました。住職から受け取った護摩木を世話方が燃え盛る護摩壇に千本程度投げ入れ、祈禱は火柱を上げながら約50分間にわたり行われました。

世話方の辻井傳一さんは「世界平和が一刻も早く来ると願っています」と話していました。

赤こんりポート 松村美紗枝リポーター



踊る楽しさを心に打ち続ける Fun beatsが目指す1位

現役中学生ダンスチーム「Fun beats」は、現在活動2年目。さまざまなコンテストで賞を獲得し、2月には関西代表として全国大会にも出場し、さらなる高みを目指して日々猛練習中だそう。

メンバーの室谷美桜さん(八幡西中)は「それぞれ個性がある中で、3人一緒になったときの相乗効果と、仲が良いからこそ出せる空気感が私たちの強み。目指すは全国優勝、皆さん応援してください!」と弾ける笑顔で話してくれました。

赤こんりポート 渥美勉リポーター



ヴォーリスが設計したツッカーハウス 20年の時を経て復活

5月15日から20日まで、ヴォーリス記念病院内にあるツッカーハウス(旧近江サナトリウム)で見学会が開催されました。1915年に大切な友人を結核で失ったヴォーリスは「豊かな日光、緑に囲まれた風景とさわやかな風など、神の与えたもうた自然そのものが、人間の内なる快復力を励ます」という理念のもと、冬至でも陽の光がさんさんと入るサナトリウム(結核療養所)として1918年に建築しました。

「ヴォーリス遺産を守る市民の会」会長の辻友子さんは「ここは昔、父が働いていたり、子どもの頃に植樹したり、思い出もある大切な場所。取り壊しの話を聞いた20年前から存続に向け活動してきました。ようやくお披露目となり、とてもうれしいです。今後は、ミニ音楽会などを実施して市民が憩う場所にできれば」と話していました。

5月27日



県の伝統芸術「江州音頭」を後世に

県の伝統芸術「江州音頭」を後世に伝えるため、県内各地で活躍する音頭取り6人が立ち上げた「江州音頭 師匠会」の初声式が日牟禮八幡宮で行われました。

この会は、江州音頭の高度な技術と奥深い歌唱力、独特の味を後世に伝えるべく、流派や会派の枠を超えて立ち上げられました。

この日は、同宮の能舞台での和太鼓演奏に始まり、師匠らによる音頭取りが行われ、境内では有志らが踊りを披露。最後には、観覧者も加わり大きな輪になって音頭を楽しみ万歳三唱で締めくくりました。



黄綬褒章 橋場 芳明さん



藍綬褒章 富岡 早苗さん



瑞宝双光章 八耳 哲也さん



子供の読書活動優秀実践団体(個人の部) 文部科学大臣表彰 市島 恵子さん

春の褒章が発表され、業務に励み模範となる人に贈られる黄綬褒章に畜産業を営む橋場芳明さん(安土町大中)が、社会福祉や公共事業などで功績を残した人に贈られる藍綬褒章に保護司の富岡早苗さん(末広町)が受章されました。

また春の叙勲に、市内小学校長や教育委員を歴任し、長年教育行政の振興に寄与した八耳哲也さん(土田町)が瑞宝双光章を受章。教員として県内外で生徒へ読書の魅力を広く発信してこられた市島恵子さん(中小森町)が、令和5年度子供の読書活動優秀実践団体(個人の部)で文部科学大臣表彰を受賞されました。皆さん、おめでとうございます。

6月10日



西の湖の豊かな自然と生き物、風景を体感 第1回西の湖エコロジーハイキングを開催

西の湖周辺を歩き、水辺の生態系を観察する「西の湖エコロジーハイキング」が開催され、市内外から23人が参加しました。

この催しでは、全3回に分けて西の湖の周りを歩き、そこで見つけた自然環境観察の径をもとに、西の湖の魅力が詰まったマップをつくります。

参加者は、ヴォーリスの森からよし笛ロードを通り、白王町へ。道中は、植物や昆虫、鳥などの自然観察を楽しみました。また、西の湖に浮かぶ「権座」では、「権座・水郷を守り育てる会」の大西實さんから、権座で育てた酒米やその米で仕込む日本酒のこと、権座の歴史などの説明があり、参加者は熱心に聴き入っていました。

5月23日



沖島散策橋の改修協力に感謝 沖島自治会から奥井総建に感謝状を贈呈

沖島で林道や散策道の再整備のほか、案内看板の設置や草刈りなどを行ってきた「近江八幡市里山整備事業」の令和4年度の事業が終了し、沖島自治会から企業ボランティアとして参画した奥井総建に感謝状が贈呈されました。

この事業では、沖島小学校から弁財天(巖嶋神社)までを結ぶ散策道にかかる8本の橋を順次改修しており、令和4年度は2本の橋の改修に着手。これまで計6本の改修に取り組みました。

この日は完成した橋の上で、森田正行自治会長から奥井敦史代表へ感謝状を贈呈し、渡り初めを行いました。